

就活日誌

国際社会学科男

就職先：ハウスメーカー 営業職

ー就活の流れー

2013年 11月

- ・SPIの勉強

2013年 12月

- ・SPIの勉強
- ・就活サイトでエントリーし始める
大手から子会社まで、とにかく多くの企業にエントリーをする。
- ・主に合同説明会に参加するようになる

2014年 1月

- ・学内・学外の合同説明会に参加
- ・企業の単独説明会に行き始める
- ・エントリーシートを書く
リクナビのOpenESを書いていないとエントリーできない企業も多々あった

2014年 2月

- ・単独説明会への参加のピーク
週4日ぐらいはとりあえずどこかの企業の説明会に参加していた。うまい具合に日にちと時間帯をまとめて効率よく説明会に参加していた。東京付近に行く場合は、友達の家泊まるのがよくあった。説明会兼一次試験というパターンもよくあった。
- ・Webテストや履歴書を書くが増える
とりあえず、SPIの対策本を一冊やっておけば問題ないと思う。最初のうちは、時間配分がうまくいかなかった。何度か受けることで慣れてくる。
- ・面接がちらほら始まる
最初はとにかく緊張した。早めに慣れておくことが必要かも。

2014年 3月

- ・単独説明会の参加は継続

- ・主に面接と筆記試験

うまくいっていたような気がするが、ちらほら一次試験や二次試験で落ち始める。徐々に持ち駒がなくなってくる。

2014年4月

- ・単独説明会の参加継続

持ち駒が少なくなってくる。周りもちらほら内々定が決まり始まる。

- ・面接
- ・OB・OG訪問

2014年5月

- ・単独説明会への参加を増やす

気持ちを切り替え、持ち駒を増やすために説明会への参加を増やす。

- ・面接、筆記試験も増える

このころから、採用期間のスペンが短くなってきたように感じる。説明会一次試験も多かった。

2014年6月

- ・面接だけ
- ・下旬に内定をもらう
- ・就活終了

-就活を振り返って-

〈全体の流れ、感想〉

私は、就活に対してそこまで準備をしていませんでした。12月から就活が始まるとのことと、それに向けて、11月にSPIの勉強や就活に関する本を読んだ程度です。実際、周りに合わせて、就活話始めたといったところです。

私の就活のスタイルは、説明会をとにかく受けて、常絵に持ち駒をキープしておくというスタイルです。二月や三月には面接がだいぶ増え、一次面接に受かったりして、順調のように思えました。しかし、順調に進んでいたところでも、二次面接あたりで落ちてしまい、三月の終わり頃には、持ち駒がほとんどなくなってしまいました。そこで、もっと説明会に参加しておけばと後悔しました。

また、少し就活に疲れてきてしまい、四月の中旬は少し休憩しました。その分、今まで

の就活を振り返り、面接で何が悪かったかについて考えました。もちろん自分だけで考えるのではなく、周りの人にも聞いて参考にしました。やはり就活時期はストレスが溜まりやすいと思うので、サークルに参加したり、友達と飲みに行ったりしてリフレッシュしていました。周りとは話す、相談することで気持ちは楽になります。周りのみんなも同じような不安や悩みを持っているので、話すことで参考になり、解決策も導けると思います。

リフレッシュしたことで、気持ちを切り替えることができました。5月からは、いつも通りに就活を行っていました。結果的に6月の下旬に最終面接があり、それに通り内定をもらい、私の就活は終了しました。

〈アルバイトとの兼ね合い〉

私は、アルバイトをしており、その中でも重役を担っていました。そのため、就活とアルバイトを両立するのは非常に大変でした。そのため、スケジュールの管理が非常に大切でした。二月、三月はほとんど就活かアルバイトで埋まっていました。ですが、うまいことやりくりすれば、空いている時間はいくらでもあると思います。バイトの休憩時間に履歴書やESをよく書いたりしていました。また、アルバイトはリフレッシュのいい機会にもなりました。

〈就活の軸、企業選択について〉

私は特に業種を絞らずに広い分野を見ていました。文系であり、特に資格も持っていなかったため、営業職しか見てなかったというのはあります。広告、商社、メーカー、IT、不動産など幅広く就活をしました。場所は、始めのうちは東京を中心に関東を見ていました。

前半は職種や業務内容を軸に働きたいと思える企業に対して就活をしていました。ですが、後半は勤務地を軸に就活するようになりました。そのきっかけは、就活のことで親と話をしたことです。私は、実家が自営業で、父親は私に地元に戻ってきてほしいという話を聞きました。就活を始めた最初のうちは、そこまで将来に対して明確なイメージが浮かんでいませんでした。というか、あまり真剣に将来と向き合っていませんでした。

ですが、四月頃に今までの就活を振り返った時に、自分の将来に対して真剣に考えてみました。兄弟と話しても、やはり将来は地元に戻ってきてほしいと言われ、真剣に地元への就職を考え始めました。そのため、後半は勤務地を見て就活するようになりました。

就活は自分の人生を決めることだから、親や兄弟に言われる通りにするものではないかもしれない。だが、何度も考えて、将来と向き合って、親の言葉を参考に就活をしてしました。結果的には、地元ではなく、地元から近い隣の県に就職することになりました。私

の実家が自営業であるとか、他にも色々と珍しいケースだと思うので、あまり参考にはならないと思います。

〈アドバイス〉

私は、「就活を楽しむこと」が大事だと思います。こんなに多くの企業を訪問し、調べる機会はそうそうないと思います。私は、実際就活をしていて楽しかったです。様々な企業や人に出会えたからです。後輩たちには、思う存分自分と企業と向き合って、後悔のない就活をしてもらいたいと思います。ぜひ、就活を楽しんでください。